

事務事業 No./名称	■サービス部門 環境-17 名越クリーンセンター管理運営事業 □支援部門				ザイムスコード及び個別事業名	
	名越クリーンセンター 関連課 環境部各課				1167	名越クリーンセンター管理運営事業
主管課	名越クリーンセンター 関連課 環境部各課					
分野名	生活環境					
目標 (目標値)	施設を適正に管理する。 適正な処理 100%					
人口等の データ	データ区分	21年度	20年度	備考		
	人口	176,669人	176,484人	・各年4月1日 (住民基本台帳)		
	世帯数	78,131世帯	77,430世帯			
	収集対象人口	103,495人	103,635人			
運営資源 状況	決算値	104,814千円	117,410千円	指標と評価		
	(国・県)					
	(負担金等)	10,511千円	23,156千円			
	(一般財源)	94,303千円	94,254千円			
	人員配置数	3.1人	3.1人			
	人件費	28,629千円	28,925千円			
	協働の パートナー					
事務事業 運営経費	総事業費	133,443千円	146,335千円	20年度	5,400千kwh	5,241千kwh
	市民1人当 りの経費	755円	829円	21年度	5,400千kwh	5,274千kwh
	対象者1人 当りの経費	1,289円	1,412円	22年度	5,400千kwh	
	ベンチマ ーク(県内外自 治体や民間 団体との比 較値)	団体名			23年度	5,400千kwh
				最終年度 (25年度)	5,400千kwh	
創意・工 夫・課題等 改善状況	課題・問題 点	(21年度事務事業を実施するうえでの課題・問題点は、どのようなことでしたか)				
	創意・工 夫・課題等 の改善点 21年度の 成果	・経済面及び環境面に寄与するため、焼却炉の運転に係る各種電動機その他の付帯機器について、省エネルギー型への転換を促進させていく。 ・雨水等の利用による水道使用量の削減				
	未解決の 課題・問題 点	(課題・問題点についてどのような創意工夫、改善をしましたか。また、どのような成果がありましたか)				
	今後の方 針(対応・ 改善)	・老朽化した給湯ボイラーを更新し、併せて廃熱利用による温水器(ストレージタンク)内のスケールを除去することで温水生産全体の高効率化を図り、これに要する灯油及びガスの使用量を削減した。				
		(21年度事務事業の取組において対応(解決)できなかったものはどのようなことですか)				
		・耐用年数を迎えた機器の省エネルギー対応機器への更新 ・雨水等の有効利用				
		(上記対応できなかった課題・問題点について今後どのように対応(改善)していきますか)				
		・延命化計画の策定及び基本設計を進めていく上で、必要な情報を得ながら施設に最も適切な機器を選定していきたい。				
一次評価(課長評価)			二次評価(部長評価)			
A:充実又は拡大 B:現状のまま継続 C:統合又は縮小 D:廃止又は休止 E:事業完了						
評価結果	改善の必要性	ごみの焼却処理は、生活環境の保全及び公衆衛生の安定を図るためにも必要不可欠なものであり、既存設備の適正な維持管理はもとより、CO2排出削減に寄与するための取り組みを積極的に行っていかなければならない。			評価結果	改善の必要性
B	有				B	有
課長名		宮村 伸一		部名・部長名		環境部 相澤 千香子